

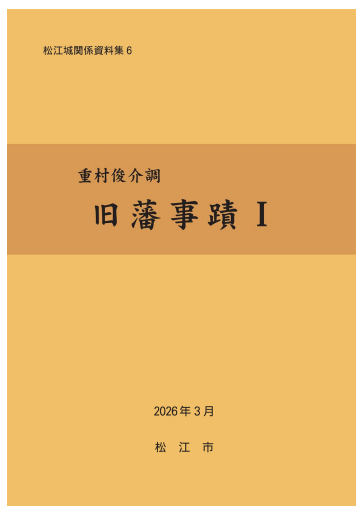
令和 7 年度 松江城関係刊行物

松江城ブックレット 9 「松江城天守古写真を読み解く」(稲田 信・木下 誠著)



明治 27 年の明治の大修理前に撮影された古写真について、撮影された時期・時刻や撮影箇所についての検討に加え、新たに発見された古写真の紹介などさまざまな角度から読み解き、紹介した一冊。

松江城関係資料集 6 「重村俊介調 旧藩事蹟」Ⅰ



松江藩士であった重村俊介が明治 45～大正 8 年にかけて執筆した旧松江藩と明治初年の県政に関する記録をまとめた史料。Ⅰでは松江城の城郭と三ノ丸にあった御殿内に関する記述が詳細になされ、重村が軍用方として勤めていた幕末の状況と明治末年の現況を知ることができる。

※令和 8 年度にⅡを刊行予定

松江城研究 7



【特集：「末次城」から「松江城」へ】

中西裕樹「特集にあたって」

中西裕樹「松江市域の城館と権力動向からみた末次城

— 地域の城館構成と中近世移行期の拠点城館に関する試論—」

高屋茂男「末次城周辺城郭群の戦略的配置

～ 陸海一体の重層的包囲網と防衛拠点としての再評価～」

岡崎雄二郎・西尾克己・守岡正司「白鹿城跡の構造と採集陶磁器」

水野椋太「文献史料にみる中世末次城」

稲田 信・小山祥子「絵図、文献史料から見た近世出雲国の居城名称

— 松江城はいつから「松江城」と呼ばれるようになったのか—」

小山泰生「松江城下町の形成過程」

佐藤仁志・飯塚康行・神庭幹尚「松江城の植生について

～ 各種調査結果等から見えて来たこと～」

土橋由奈 「陸軍省所轄期の松江城 — 『陸軍省大日記類』 の分析—」